



みなみなかさき

豊島区立南長崎幼稚園
園長 高橋 順子

幼児期の学び

～散歩・遠足～

園長 高橋 順子

新年度が始まり、園児たちも園生活に慣れ、砂遊び、製作、積み木を使った遊びなど自分がしたい遊びを見つけたり、クラスの友達と鬼ごっこをしたり楽器遊びをしたりと元気に遊ぶ姿が多く見られます。そして、教育活動にも園内から園外へと広げる時期になりました。

始めて園からのおでかけとして、5月8日（水）椎名町小学校へ幼小交流の1つとして、サツマイモの苗上にいきました。次に、5月15日（水）には、南長崎スポーツ公園へ出かけました。椎名町小学校、南長崎スポーツ公園は、年間を通じて何度も出かけて、小学生や地域の人に親しみを感じたり、幼稚園より広い場所で思い切り体を動かしたりする経験をしていきます。

園外の教育活動として、6月13日（木）サンシャイン水族館遠足に行きます。朝、東長崎駅に集合して、西武池袋線で池袋駅に行き、人と通りのかなりある池袋駅を歩き、有楽町線に乗り換えて、東池袋で降りて、サンシャイン水族館まで歩き出すと、途中、生き物の写真の掲示あり、ワクワクしてきます。サンシャイン水族館の中に入ると、「わあ、きれい!」「魚が餌、食べているね」「ペンギン、泳ぐの早いね」など、発見したり、驚いたりしたことを言葉で表すことでしょうか。遠足で友達と一緒に体験することは、その後、自分の感じたこと、考えたことを言葉、絵、動きなど様々な方法で工夫して表したり、友達の話を聞いたり、遊びに必要なものを作ったりして、ごっこ遊びに発展させたりしていきます。

このように散歩や遠足などの園外の活動を通して、公共の場でのマナーを守り、安全に行動することや友達と協力して考えたり工夫したりすることを学んでいきます。このような幼児期の学びを支えることができるように、教職員も、園児と一緒に遊びや生活を楽しみながら、小学校教育へつながるような教育活動の展開を図って参ります。

6月の指導のねらい

- 4歳児**
- ・興味を持った遊びに自分から取り組み、友達と関わりながら遊ぶ楽しさを感じていく。
 - ・保育者や友達と一緒に身体を動かしたり、リズムや歌声を合わせたりすることを楽しむ。
 - ・手洗い、うがい、着替え、お弁当の支度などのやり方が分かり、自分でしようとする。
- 5歳児**
- ・自分なりに目的をもち、繰り返し考えたり試したりすることを楽しむ。
 - ・友達と工夫して遊具を組み合わせたり、身近な素材で作ったりして、遊びのイメージを実現する楽しさを味わう。
 - ・グループの友達とする活動が分かり、自分の考えを言ったり、友達の考えを聞いたりしながら一緒に取り組む。